

飯山高校

# 桂雪会報

第5号

発行日

令和4年2月28日

発行人

長野県飯山高等学校  
桂雪会長 宮本衡司

編集責任者 渡辺藤夫

印刷所 (株)足立印刷所



## コロナ禍による社会変動のときを生きる

飯山高等学校同窓会 桂雪会 会長 宮本 衡司 (飯山北・S45年卒)

令和4年寅年を迎え、謹んでお慶びを申し上げます。桂雪会員の皆様には、日頃から桂雪会の活動に対しご支援とご協力を賜り心からお礼申し上げます。

私は桂雪会第三代目会長の宮本衡司であります。初代森会長(H28・29年度)、二代目関会長(H30・R1年度)を引き継ぎ、桂雪会発展のため尽力したいと考えておりますので、何卒皆様のご支援をお願い申し上げます。

### 第4・5波から、オミクロン株による第6波へ

令和3年度は、アルファ株による新型コロナウイルス感染症の第4波の始まりのスタートしました。今年度も感染症対策の為、入学式は職員・入学生・保護者のみで行われ、新入生197名を迎えましたが、同窓会としてお祝いの場に立ち会うことはできませんでした。

一学期は、感染予防のため一定の制限はあるもののほぼ計画どおり学校の教育活動は行われたようです。マスク着用や手洗い・うがい、消毒やソーシャルディスタンスを日々励行することは、コロナ時代の生活習慣となりつつあり、講演会や全校集会

は密を避けるためリモートで行われ、文化祭やクラスマッチ、研修などの行事も密を避けながら実施されました。

7月の後半からはデルタ株が猛威を振るい、第5波の大きな波が各地で医療崩壊をもたらしましたが、学校でも夏休み明けからは暫らくの間、午前授業の対応がなされました。11月12日は小康状態が続き、経済活動の再開も期待されていましたが、年末よりオミクロン株の驚異的な感染力に世界中が翻弄され、最近では全国各地で感染者の一日の最大数を更新しており、第6波が猛烈な勢いで押し寄せています。

間もなく大学入学共通テストに向かう三年生は、この2年間、コロナ禍に翻弄されてきました。本人の進路への不安はもちろん、保護者の皆さんも気が重くないと思いません。しかし、コロナ禍の中で高校時代を過ごした経験は原動力にして、変動する社会を乗り越えていって欲しいと願っています。

### SSH第3期の指定なる

平成28(令和2年度)にかけて文部科学省よりSSH(スーパー・サイエンス・ハイスクール)に指定されていた本校で

すが、これまでの取り組みや実績が評価され、今年度から令和7年度までの5年間、継続してSSH指定校に指定されました。コロナ禍による暗い雰囲気の中、将来への希望を感じさせる第III期の指定となりました。今期の研究開発課題には「豊かな感性で地域の明日・地球の未来を創造する科学技術系人材の育成」中山間地域で育む感性×ICT×データサイエンス」を掲げ、自然豊かな地域で育まれた感性を活かし、科学的な視点で考え、発信することが出来る生徒を育成する取り組みを実践しています。

その成果として、10月には、長野県学生科学賞で探究科生徒の課題研究「バイオトイレの開発に向けて」が最高賞である県知事賞を受賞しました。この受賞は5年ぶりの快挙であり、研究は、日本学生科学賞に出展することになりました。

WiFi環境が整い、タブレットも一人ひとりが所持することで今後ますます有意義な探究活動が実践されて、その教育活動が将来の地域の発展につながっていくことを期待したいと思います。

### 様々なクラブ活動の活躍

昨年度・一昨年度と野球部・スキー部・吹奏楽部の活躍が顕著でありましたが、今年度は陸上競技部や男女ソフトボール部、女子バレー部、卓球部などのクラブも活躍してくれました。陸上競技部は新人大会で学校対抗男子2位、女子3位を果たし、県大会でも学校対抗3位となりました。駅伝でも入賞を果たすなど、県下の強豪校としての位置を築きつつあります。女子ソフトボール部は春に続き、新人大会でも県3位、男子は久々に伊那弥生ヶ丘に快勝し全国選抜大会への切符を手にし

ました。また、女子バレー部は新人大会で北信優勝、県ベスト4を狙っており、卓球部も北信大会で男子学校対抗3位、個人でも毎回県大会に出場するなど、育ってきています。文化部でも、吹奏楽部をはじめ軽音楽同好会やダンス同好会も地域イベントやコンクールなどで存在感を示しています。自主活動が次第に寂しくなっている学校が多い中で本校は、充実ぶりを示してくれています。

### 創立120周年記念事業準備委員会

昨年の3月下旬に部会と委員会が開催され、委員の初顔合わせをしました。コロナの状況もあり、今年度は実質準備を進めることができませんでした。この年明けから、いよいよ準備を始めたいと記念事業の実施はかなわないと思っておりますので、記念事業のテーマ「弗為胡成く未来へのレガシー創造」のもと、協力体制をつくりながら記念事業の準備を進めたいと思います。

### 最後に

この2年間、新型コロナウイルス感染症の拡大とともに、社会状況が大きく変化してきています。経済活動もなかなか通常に戻れず、ご苦労されている同窓生の皆様も多いと思います。このような苦しい社会状況であるからこそ、共に学んだ絆を大事にしていくこと、同窓会の意義が求められるのではないかと思います。このような変動する社会の中で生きていく時を共有し、深い絆を原動力として乗り越えていく姿を同窓生の皆様に期待します。皆様のご健勝とご多幸を祈り、これからも本会へのご協力を賜りますことをお願いしてご挨拶いたします。

(令和4年1月)



# 継承される学び

校長 湯本 武利

新年あけましておめでとうございます。桂雪会の皆様におかれましては、日頃より本校の教育活動に對しまして多大なるご支援とご尽力を賜り、心より感謝申し上げます。

早いもので市内の高校3校が統合してから7年が経過します。今年度は新たに197名の新入生を迎え、計585名（令和3年5月1日現在）でスタートしています。昨年度に続き、コロナウイルス感染症対策により様々な制限がかかる中であります。行先を近県に変更しての2年研修旅行、日程を一カ月ずらしてのクラスマッチ等、未知なる経験の中で、すべての行事を生徒の大切な成長の場と捉え、最大限生徒の学びの場を確保するために、智慧を出し合い課題解決に取り組んだ一年となりました。とりわけ7月に実施した飯高祭の開催に際しては、3年生のリーダーたちを中心に、どうすれば密にならずに済むか、どうすれば例年以上の文化祭を企画できるか、議論を重ね答えを見出す、まさに探究的な学びが実践されました。コロナ前と同じ日規模で文化祭を体現した生徒たち、それを陰で支えながら見守った先生たちの姿に感動した文化祭でした。自分の見たいものも見ず、消毒液を片手にひたすら感染対策に努める生徒の姿は忘れられません。

てほしい、そして幸せになつてほしいと願い、2学期の始業式で敢えてこんな話をしました。

『二兎を追う者は一兎をも得ず』ということわざを聞いたことがあると思います。『二兎の『兎』はうさぎのこと。2羽のうさぎを同時に捕えようとするとする者は、結局は1羽も捕えられない。二つの物事を欲張ると、どちらも失敗したとわざです。しかし、埼玉県立浦和高校で校長を務めた関根郁夫先生は、勤務した高校で、生徒たちに対して、「少なくとも三兎を追え」と言っています。「三兎を追え」です。無謀なことを言うな〜と思いますね。この校長先生が言う「三兎」は何だと思えますか。勘がいい人は気づいたかもしれません、そうです、「三兎」が意味するものは、「勉強・部活・学校行事」の3つです。なるほどな〜と思つたでしょうか。

さて、そこで、「二兎を追う者は一兎をも得ず」ということわざがありながら、なぜ、あえて「三兎を追え」と言うのか。この校長先生は、このことわざは二兎を同時に追つた場合の話だと言っています。三兎を同時に追えば、当然一兎も得ることはできない。だから、「切り替え」が重要になると言っています。いいですか、切り替えです。勉強を追う時には思い切り勉強を追う、

部活を追う時には必死で部活を追う、学校行事を追う時には全力で学校行事を追う。そうした切り替えをして三兎を追う、そういう姿勢で高校生活を送れということですよ。

本校の野球部のある3年生を思い出します。夏の甲子園出場を目指して練習を重ねてきた3年生、先ほどの三兎のうちの二兎である部活を必死で追つてきたことでしょうか。2回戦を終えた翌日の朝のことです。3年生の2人が、自由活動コーナーでもう勉強しているではありませんか。まさに「切り替え」でした。これが大事なんです。この校長先生も「三兎を捕らえよ」とは言っていない。「三兎を追え」と言っています。追つて追つて、自分の限界まで挑戦することが重要だということですよ。

飯山高生には「三兎」を追う力、そして土壌、学校の雰囲気があると思つています。「勉強・部活・学校行事」この「三兎」を全力で追つて、自分の限界に挑んでほしいと思います。苦しみながらも前に向かって力を尽くす人は信頼できると、成長してゆくとおもいます。能力があるとかないとかで悩んでいないで、限界を乗り越えることを楽しんでほしいと思います。

勉強・部活・学校行事を全力で追つてきた3年生は今進路実現に向けて勉強に集中しています。2年生は3年生に代わり、学校の顔、リーダーとしての風格を身につけようと、「引き受けて考える」学びに挑んでいます。1年生

は2年生に代わり、学校の柱として揺るぎない学校を共創するために力を蓄えています。上記の原稿の中でも述べていますが、飯山高校には桂雪会の先輩方が年月をかけて大切に慈しんでくださった土壌があり、生徒たちは迷いなく学びに気持ちを向けることができます。その素晴らしい環境の中で、彼らに己の可能性の魂を太らせてほしいと願っています。

今年も冬本番を迎え、まもなく全国高等学校スキー大会が開催されます。今年度は岩手県が会場となりますが、昨年度元飯山市で行われたこの大会では皆様のご支援のおかげで男女アベック総合優勝を果たすことができました。選手たちは全国大会での2連覇を目指して、雪国飯山に朗報が届けられるよう厳しいトレーニングに励んできました。皆様の温かなご支援は大きな力となります。

最後になりますが、桂雪の皆様には、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願いするとともに、桂雪会がますます発展されることを祈念してご挨拶といたします。

(令和4年1月)



## 『SSH×変化する「学力」の定義・教育の形』

SSH  
第Ⅲ期始動

今年度もコロナ禍が継続する中、「GoogleClassroom」などICTを積極的に活用しながら探究活動を実施しました。第Ⅱ期より継続してきたプログラムを整理し、より教育効果が高く持続的な内容にマイナーチェンジしました。それらの成果を波及させていけるよう、次年度は宣伝、広報、ICやICEとの連携強化に取り組みたいと思います。BYODの推進により、一人1台タブレットとなり、探究活動においてもICTの活用が急速に進んでいる一方で、情報モラルや情報リテラシーについて、私たちも研修が必要だと感じております。

AIや情報ツールが発達し、「知識・技能」だけでは通用しない時代です。「正解の一方的なアウトプット」をすすめる既存の教育を見直し、「対話し共に研修する双方向的な学び」の形を実践できるのがSSH事業であり、その先進的環境が整っていることが本校の一番の魅力だと確信しております。

今年度、特に力を入れたプログラムについて、幾つか紹介させていただきます。

## 自然観察フィールドワーク



○1年探究科 5/26 (水) 会場：森の学校キョロロ (新潟県十日町市)

野鳥観察、ブナ林調査、土壌動物調査の3コースに分かれ、午前は現地研修、午後は近隣の体育館を利用してインストラクターや上越教育大学生のアドバイスをもらいながら、研修の振り返りとデータのまとめを行いました。授業内で飯山城址公園フィールドワークを実施し、「植生」分野の知識の確認と合わせてフィールド調査における観点などもレクチャーし、授業と探究活動との親和性を高めました。資料の配付はICTを積極的に活用し、事後学習としてレポート作成を行いました。

○1年普通科・スポーツ科学科 5/27 (木) 会場：なべくら高原森の家 (飯山市)

インストラクターの話を記録しながらブナ林散策を行い、事後学習として授業内で研修内容をレポートにまとめました。当日は雨天でしたが、樹幹流という珍しい現象を観察することができ、有意義な研修になりました。普通科とスポーツ科学科は10/25 (月)にも同会場でフィールドワークを実施し、季節による森の変化を体感し、考察しました。



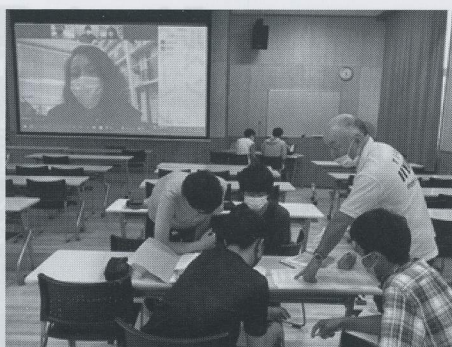
## SSHフェスティバル in 飯山高校 ～わくわくサイエンス教室～

11/27 (土) に実施され、小中学生を中心に、50名以上の方が来校されました。オープニングは探究科1年南雲さんが司会を務め、自然科学部によるドローン飛行の実演で会場を沸かせました。

メイン企画「わくわくサイエンス教室」では、テーマ設定から演出、原理の説明まで、すべて探究科1年の生徒が中心となってデザインした実験ショーを楽しんでもらいました。「伝統工芸体験」では、自分が描いた作品を持ち帰ることができ、子どもたちは真剣に取り組んでいました。



## 高大企業連携 ～若き研修者との対談・サイエンスツアー～



放課後や探究の授業において、研究テーマに沿って、専門家に研究計画や成果等を発表し、助言をいただきました。企業や大学の研究者、大学院生など、各分野の専門家と連携して主にオンラインで交流しました。

1年探究科は10/25 (月) に2コースに分かれ、駒ヶ根コースはJICAとかなてんばばを見学、諏訪コースはセイコーエプソン見学と諏訪東京理科大オンライン講義を実施しています。

<主な連携先>北海道大学、東北大学、東京大学、信州大学、長野県立大学、公立諏訪東京理科大学、名古屋大学、チューリッヒ大学、国立循環器病研究センター

### 北京冬季オリンピックでの活躍を期待

2022年2月4日、北京で開幕する冬季オリンピックに、我が桂雪会より3名の選手が出場することになりました。女子ジャンプに岩瀬香里選手(平24飯山高卒)、男子ノルディックコンバインドに山本涼太選手(平28飯山高卒)、そして女子クロスカントリリーに小林千佳選手(平29飯山高卒)です。山本、小林の両選手は今回が初出場であり、岩瀬選手は平昌オリンピックに続き2回目の出場です。

この会報が届くときにはすでに結果が出ていると思いますが、個々に全力を尽くし、素晴らしい大会になることを祈っています。飯山高校関係者全員が応援しています。桂雪会とスキー部OB・OG会から激励の気持ちをお渡ししました。



### おめでとう！銅メダル

2月17日(木)、「北京冬季オリンピックの男子複合団体で銅メダル獲得」のうれしいニュースが入ってきました。山本涼太選手は、前半のジャンプで135mの大ジャンプ、後半の距離ではアンカーを務め、ドイツ、オーストリアの選手と競り合いを演じ、見事、ドイツのガイガー選手に0秒3差で3位に入賞しました。山本選手は個人戦でも、前半ジャンプで1位(NH)、2位(LH)と素晴らしい活躍でした。



### おめでとう！ノルディックジュニア世界選手権大会への出場

2022年2月22日から、コンバインド競技はザコパネ(ポーランド)、クロスカントリリー競技はリグナ(ノルウェー)で開催されるノルディックジュニア世界選手権大会に、本校スキー部から3選手が出場することになりました。

コンバインドには、今年のインターハイ優勝者中澤拓哉選手、クロスカントリリーには、同じく女子リレー優勝メンバーの中島果歩、山崎優風の両選手が出場します。今回北京オリンピックに出場する選手も、この大会に出場しているので、是非とも後を追いかけて将来のオリンピック選手に成長してもらいたいと思います。桂雪会から激励の品を送りました。



右から久保田教諭、中澤選手、湯本校長



右から高橋教諭、中島選手、山崎選手、湯本校長



### 祝・北信越大会出場

#### 【春/総合体育大会】

#### 〔陸上〕

- 男子 4×100mR 関谷・山本・高木・増田
- 走幅跳 荒井陽呂実
- 女子 ハンマー投げ 小林朋子

#### 〔ソフトボール〕

男子

- 〔水泳〕 男子 200m平泳ぎ 新保祐樹

#### 〔秋/新人戦〕

#### 〔陸上〕

- 男子 800m 川久保力生
- 走幅跳 荒井陽呂実・佐藤駿也
- 3段跳 佐藤駿也
- 4×100mR 佐藤・高木・関谷・増田
- 4×400mR 高木・川久保・佐藤・江口

#### 〔ソフトボール〕

男子



男子ソフトボール部

### 祝・全国大会出場

#### 〔ソフトボール〕

男子 2022年3月25日〜28日

#### 〔スキー〕インターハイ結果

- アルペン 男子 大回転 17位 笹岡蒼空
- 男子回転 25位 河野大戦
- 女子大回転 35位 小柳花梨
- 女子回転 32位 山本紗羽

#### クロスカントリリー

- 男子クラシカル 13位 池田遼一
- 男子フリー 15位 池田遼一
- 21位 小笠原舜
- 女子クラシカル 5位 山崎優風
- 女子フリー 4位 山崎優風
- 男子リレー 5位 串橋・小笠原・池田・堀米
- 女子リレー 1位 中島・竹内・山崎

#### ジャンプコンバインド

- 男子スペシャルジャンプ 2位 山崎叶太郎
- 10位 小野沢秀太
- 女子スペシャルジャンプ 11位 佐藤ひなた
- 男子ノルディックコンバインド 1位 中澤拓哉
- 4位 山崎叶太郎
- 7位 小野沢泰雅
- 8位 久保田康太郎
- 女子ノルディックコンバインド 3位 佐藤ひなた

#### 学校対抗

- 男子 2位
- 女子 4位

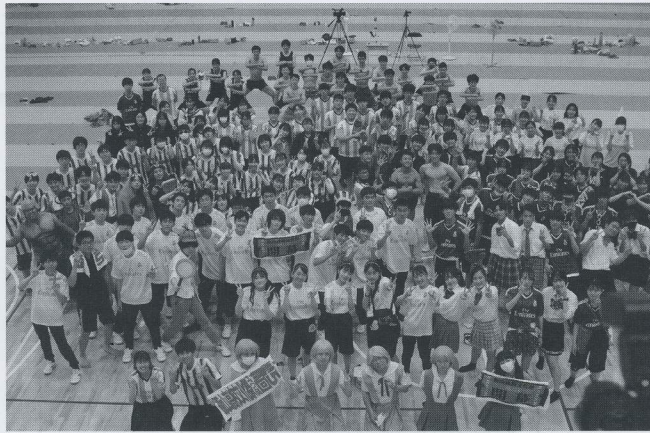
学校の様子

◎第6回飯高祭 ～Focus 思い出いっぱいくっつてもろて～

第6回飯高祭が、7月2日(金)～4日(日)に行われました。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、昨年同様、合唱祭やクラス展示、模擬店、パレマス(パレード&マスコット)などの恒例企画を実施することができない中、執行部を中心に「クラス対抗ダンス」や「フォトスポット制作」など新たな企画を立案し実現することができました。また、期間中のメイン会場となった大体育館では入場者制限を設けソーシャルディスタンスを保ち、各クラスへのリモートによるライブ中継を行うなど、様々な工夫をしながら感染予防をし、運営を行いました。

3日目では保護者限定で一般公開を行い、多くの方に来場していただきました。各クラスが作成したフォトスポットや、芸術祭、各クラブの展示などを見ていただき楽しんでもらいました。

ここ2年の文化祭は、これまでの伝統的な企画ができない中、新たな企画を作ったり運営方法を模索しながら、全員の思い出に残る文化祭を創り上げました。飯山高校の団結力と成長を感じる文化祭となりました。



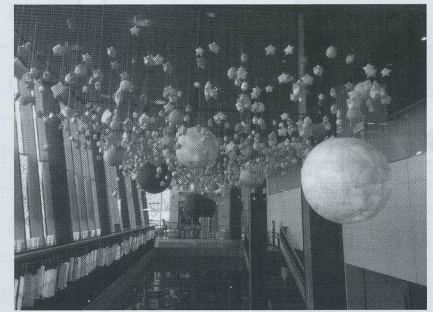
◎スポ科1・2年で野外実習

7月14日(水)～16日(金)、スポーツ科学科1・2年生の野外実習が行われました。新型コロナの影響で今年も宿泊せずに、飯山市・野沢温泉村・妙高市で実習を行いました。1年生は、飯盒炊飯・小菅山奥社登山・ボルダリング・源流探検・SUPに取り組み、2年生はマウンテンバイク・マレットゴルフ・妙高アドベンチャー・ボルダリング・ラフティングに取り組みました。



◎いいやま灯籠まつり 美術部が実行委員会と共同制作

8月8日(日)～23日(月)に飯山駅構内にて、本校美術部の生徒が地元特産で国の伝統的工芸品「内山紙」で作った灯籠などが飾られました。これは日本夜景遺産に認定されている「いいやま灯籠まつり」が新型コロナの影響で昨年に続き2年連続で中止となったが、災害からの復興と新型コロナの終息への願いを込めて企画されました。「明日に輝く地上の星たち」をテーマに「コロナ禍の先、未来の希望を表現したい」と1・2年生が約360個の灯籠を作製しました。飯山駅を利用する多くの方々や岳北地域の未来を明るく照らすイベントとなりました。



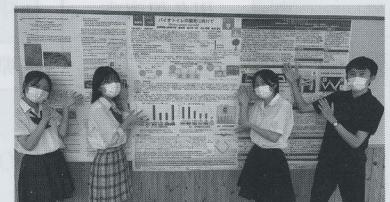
◎秋晴れの下、第38回競歩大会

10月8日(金)、秋晴れの下、第38回競歩大会が行われました。今年はコースを一部変更し、本校を出発し、千曲川左岸堤防を走り、常盤大橋を渡り、瑞穂地区を抜け、中央橋を渡り、城北グラウンドにゴールする約17kmのコースに挑戦しました。男子は串橋祐次郎さん(1-5)、女子は山崎優風さん(2-5)がトップでゴールイン。完歩後はPTAの方々からランチパックとドリンクを用意していただき、おいしそうにほおぼっていました。



◎県学生科学賞で県知事賞受賞!!

今年度長野県学生科学賞で「バイオトイレの開発に向けて」(小山琉香、佐々木乃彩、菊池夏花)が最高賞である県知事賞を受賞しました。本校では5年ぶりの快挙を遂げたこの研究は、日本学生科学賞に出展することになりました。



◎松本県ヶ丘高校との交流

12月7日(火)、松本県ヶ丘高校1年生10名が来校し、探究科1年生との交流を行いました。県内に2校しかない探究科の生徒同士の交流の中で、松本県ヶ丘の生徒が課題設定した「探究科の違い」や、「地域の伝統工芸品」について、課題解決のために高校生視点で本校生徒へ取材を行ったり、探究の取組状況の共有などを行いました。また、本校生徒による「わくわくサイエンス」実演では、一緒にスライムを作ったり、プログラミングを活用してゲームを作ったりして親睦を深めました。



令和3年度桂雪会役員

次年度は役員改選の時期となります。

本会役員

顧問	池川 信夫
顧問	岩崎 彌
顧問	猪瀬 清徳
顧問	森 司朗
顧問	関 保典
顧問	湯本 武利
会長	宮本 衡司
副会長	内山 英樹
副会長	高橋 彰
副会長	瀧澤 俊實
副会長	太田 良夫
副会長	小嶋日出子
監事	箕口 徳夫
監事	平野 正幸

飯山支部	支部長	上松 永林
	副支部長	横川 莊一
	副支部長	村石桂太郎
秋津支部	支部長	島田 和彦
	副支部長	石澤 一芳
木島支部	支部長	丸山 朗
	副支部長	関 藤夫
瑞穂支部	支部長	澤木 伸一
	副支部長	増山 保範
柳原支部	支部長	岩松 義雄
	副支部長	佐藤 正夫
外様支部	支部長	木幡喜美子
	副支部長	春日 早夫
常盤支部	支部長	春日 隆
	副支部長	平野 正幸
太田支部	支部長	青木 彰
	副支部長	庚 繁樹
岡山支部	支部長	井沢 清一
	副支部長	田中 康一
木島平支部	支部長	瀧澤 俊實
	副支部長	池田 充栄
野沢温泉	支部長	平田 幸男
	副支部長	富井 裕昭
栄支部	支部長	森川 博
	副支部長	渡辺 要範
長野支部	支部長	武田 芳彦
	副支部長	瀧澤 国夫
須高支部	支部長	小林 守夫
	副支部長	大熊 文久
豊野支部	支部長	米木 善登
	副支部長	原田 茂
中野支部	支部長	
	副支部長	
豊田支部	支部長	吉岡 典高
	副支部長	小橋 浩樹
津南支部	支部長	島田 哲宏
	副支部長	
県外(5)		
東京関東支部	支部長	青井 富雄
	副支部長	高橋 彰
	副支部長	阿部 靖典
	会計	阿部 靖典

幹事

幹事長	上海 一徳
副幹事長	村石桂太郎
副幹事長	小橋 浩樹
副幹事長	湯本 直木
幹事	山崎 美典
幹事	大塚 正
幹事	新家 智裕
幹事	小田切 昇
幹事	藤巻 篤
幹事	藤本 智教
幹事	岡田 敬幸
幹事	川久保直市
幹事	吉越 利明
幹事	小山 巧
幹事	島田 和彦
幹事	澤木 伸一

「甲子園寄付金に関する事業の報告」

第101回全国高等学校野球選手権大会への出場に際して、多くの皆様方からの激励や称賛のお言葉、また、心温まる多大なご支援を賜りましたこと、心より御礼申し上げます。皆様方よりご寄付いただいた支援金を用い、「これからの事業の進め方」に従って、本年度①～③の事業を進めさせていただきましたのでご報告させていただきます。

- ①野球部の施設整備として、城北グラウンドのトイレの改修・道具等収納のための倉庫建設・観客席屋根の補強
- ②グラウンドの施設整備として、城北グラウンド・第1グラウンド・第2グラウンドの水銀灯をLED照明に改修
- ③学校のクラブ活動の助成として、ワゴン車(ハイエース)購入助成  
学校全体が更に発展できるよう努めていきたいと思っております。ご支援に感謝申し上げます。

学校関係

校長	湯本 武利
教頭	倉田 慎司 120周年記念事業・スクールバス
事務長	浦野 幸夫 会計
幹事	渡辺 藤夫 事務局長・総務・広報(HP)・桂雪アカデミー・生徒助成・クラブ支援・120周年記念事業
幹事	宮澤 良裕 事務局次長・総務・桂雪会名簿改訂・教育環境整備・120周年記念事業
幹事	小林幸太郎 桂雪会名簿改訂・桂雪会報・教育環境整備・マイクロバス
幹事	矢崎 悠喜 桂雪アカデミー・マイクロバス・生徒助成・クラブ支援
幹事	山崎 皓 桂雪会報・桂雪アカデミー